

■ 本文

俊恵いはく、「五条三位入道のもとにまうでたりし〔①〕 ついでに、『御詠（ぎよえい）の中には、いづれをかすぐれたりとおぼす。よその人さまざまに定め侍れど、それをば用ゐ侍るべからず〔②〕。まさしく承らむ』と聞こえしかば、

夕されば野辺の秋風身にしみて鶉鳴くなり〔③〕 深草の里
を、『これをなむ、身にとりておもて歌〔④〕と思ひ給ふる』と言はれしを、俊恵またいはく、「世にあまねく人の申し侍るは、

面影に花の姿を先立てて幾重越え来ぬ〔⑤〕 峰の白雲
これをすぐれたるやうに申し侍るは、いかに」と聞こゆれば、「いさ、よそにはさもや定め侍るらむ、知り給へず〔⑥〕。なほ、みづからは、先の歌には言ひ比ぶべからず」とぞ侍りし。

とこそ言はれしか。これをうちうちに申ししは〔⑦〕、かの歌は、「身にしみて」といふ腰の句のいみじう無念におぼゆる〔⑧〕なり。これほどになりぬる歌は、景気〔⑨〕を言ひ流して、ただそらにそらなるものか、げにいかにと、たどり知られて、すべていはむかたなく〔⑩〕、すぐれてめでたきなり。すべて、ことに深く心にくく見ゆる〔⑪〕歌は、まことしく言ひ表したところは少なく、おのづから余りて心にくくあらまほしきなり。

【注】五条三位入道＝藤原俊成。出家後の呼び名。／俊恵＝鴨長明の和歌の師。源俊頼の子。／おもて歌＝代表作として人前に出して恥ずかしくない歌。／腰の句＝和歌の第三句。／景気＝景色・風情、また歌の趣・余情。／心にくし＝奥ゆかしい、上品で深みがある。

■ 設問（全23問）

- 傍線部〔①〕「五条三位入道のもとにまうでたりし」を現代語訳せよ。また、ここで用いられている敬語「まうで」の種類（尊敬・謙譲・丁寧）と、誰の誰に対する敬意かを答えよ。
- 次の文学史の問いに答えよ。
 - 『無名抄』の作者名を漢字で答えよ。
 - この作者が著した、和歌の家集や随筆として知られる作品を一つ答えよ（例：随筆作品）。
 - 『無名抄』のジャンル（書物の種類）を、漢字三字で答えよ。
 - 本文に登場する「五条三位入道」（藤原俊成）が撰者を務めた勅撰和歌集の名を答えよ。
- 傍線部〔②〕「用ゐ侍るべからず」を現代語訳せよ。
- 本文中の和歌「夕されば野辺の秋風身にしみて鶉鳴くなり深草の里」を、現代語訳せよ。
- 俊恵は、なぜ「身にしみて」という句（腰の句）を「いみじう無念」だと評したのか。その理由を、本文に基づき四十字程度で説明せよ。
- この文章で重んじられている、言葉に表しきらず余情によって深い趣を生む和歌の美的理念を、漢字二字で答えよ。また、その理念を本文で象徴的に表す、第三句「身にしみて」に対する評価の語（傍線部〔⑧〕付近）を本文から抜き出せ。

7. 傍線部〔③〕「鶉鳴くなり」の「なり」について答えよ。
- (1) この「なり」は何の助動詞か。意味（伝聞・推定／断定／存在 など）を答えよ。
 - (2) そのように判断できる理由を、直前の語の活用形に着目して説明せよ。
8. 傍線部〔④〕「おもて歌」とはどのような歌か。注を参考に、十五字以内で説明せよ。
9. 和歌「面影に花の姿を先立てて幾重越え来ぬ峰の白雲」は、どのような情景・心情を詠んだ歌か。簡潔に説明せよ。
10. 傍線部〔⑤〕「幾重越え来ぬ」の「ぬ」の文法的説明として正しいものを次から選べ。
- ア 打消の助動詞「ず」の連体形 イ 完了の助動詞「ぬ」の終止形 ウ 完了の助動詞「ぬ」の連用形
エ ナ変動詞の活用語尾
11. 傍線部〔⑥〕「いさ、よそにはさもや定め侍らむ、知り給へず」を現代語訳せよ。
12. 傍線部〔⑥〕の「いさ」の意味として最も適当なものを次から選べ。
- ア さあ、どうだか（よくわからない） イ いやだ ウ いざ（さあ行こう） エ 少しも
13. 傍線部〔⑥〕の「定め侍らむ」の「らむ」の文法的意味を答えよ。
14. 傍線部〔⑦〕「これをうちうちに申ししは」とあるが、「これ」が指す内容を本文に即して説明せよ。また、この部分以降は誰が誰に語った言葉か、語り手を明らかにせよ。
15. 傍線部〔⑨〕「景気」の本文中での意味として最も適当なものを次から選べ。
- ア 経済の動向 イ 景色・情景、また歌のおもむき ウ 人の気分 エ 天気のよしあし
16. 傍線部〔⑩〕「いはむかたなく」を現代語訳せよ。また「いはむかたなし」の「む」の文法的意味を答えよ。
17. 傍線部〔⑪〕「ことに深く心にくく見ゆる」の「心にくし」の本文中での意味を答えよ。
18. 傍線部〔⑧〕「おぼゆる」、傍線部⑩の直前にある「心にくく見ゆる」について、それぞれ終止形を答えよ。さらに〔⑧〕「おぼゆる」が連体形になっている文法上の理由を説明せよ。
19. 本文の末尾「まことしく言ひ表したところは少なく、おのづから余りて心にくくあらまほしきなり」とは、優れた歌をどのようなものだと述べているか。俊恵（長明）の歌論として、四十字程度で説明せよ。
20. 傍線部〔①〕の「し」は助動詞である。
- (1) この「し」の終止形（基本形）を答えよ。
 - (2) この助動詞の意味（文法的意味）を答えよ。
21. 傍線部〔②〕の「べから（べし）」の文法的意味として最も適当なものを次から選べ。
- ア 推量 イ 意志 ウ 可能 エ 当然 オ 命令
22. 和歌「夕されば…」の「夕されば」の意味（現代語訳）を答えよ。また「されば」の「さる」の意味を説明せよ。
23. 傍線部〔④〕の歌（深草の里の歌）と傍線部〔⑤〕の歌（面影の歌）について、俊成自身と世間の人々はそれぞれどちらを優れていると評価しているか。本文に即して説明せよ。